

令和は古典を楽しもう

古典芸能を“偏愛”する二人のトーク&レクチャー

おしゃべり 古典 サロン

vol.3

2019年

9月22日[日]

14:00~16:00

※13:30より受付開始

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター

三重県文化会館 小ホール

料金:1,000円

※当日受付にてお支払ください。

定員:200名

※定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

講師:



木ノ下裕一

木ノ下歌舞伎主宰



田中綾乃

三重大学人文学部准教授

7月13日(土)より申込受付開始

問合せ:三重県文化会館チケットカウンター
TEL059-233-1122 ※10:00~19:00/月曜休館(祝日の場合翌平日)

主催:三重県文化会館 共催:三重県生涯学習センター

『お岩さんの怪談譚』として、現代でも有名な『東海道四谷怪談』。
しかし、本作は、当時の世相や市井の暮らしを活写した群像劇でもあるのです。
お岩さんを取り巻く人々の、愛憎、欲望、復讐の数々……
さながら『物語のデパート』ともいうべき、鬼才・鶴屋南北の傑作に、ディープに迫ります。

文政八年(一八二五年)七月、江戸・中村座で初演を迎えた『東海道四谷怪談』は大ヒットを記録します。毒薬を飲んだお岩が恐ろしい姿に変わる「髪梳きの場」などアツと驚く仕掛けが観客の心を掴んだのはもちろんのこと、『仮名手本忠臣蔵』と交互に上演する形式が注目を集めました。なぜ当時十七七年前に生まれた赤穂浪士の討入劇『忠臣蔵』を同時上演したのか?
表裏一体をなす、この二作上演に込められた鶴屋南北の野心とはいかに。

とうかいどうよつやかいだん

東海道四谷怪談

お知れば知るほど
おもしろい!



木ノ下裕一 木ノ下歌舞伎主宰

きのしたゆういち

1985年和歌山市生まれ。小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受け、古典芸能への関心を広げていく。京都造形芸術大学(映像・舞台芸術学科)で現代の舞台芸術を学び、2006年に古典演目の現代的上演を行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。作品の補綴・監修という立場をとりつつ、様々な演出家とタグを組みながら創作するスタイルをとっている。近作に、『義経千本桜』(2012年 総合演出:多田淳之介、演出:白神ももこ・杉原邦生)、『三人吉三』(2014年,2015年 演出:杉原邦生)などがある。2015年に再演した『三人吉三』にて読売演劇大賞2015年上半年作品賞にノミネートされる。その他古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。



田中綾乃 三重大学人文学部准教授

たなかあやの

愛知県名古屋市生まれ。東京女子大学文理学部哲学科卒業。同大学院博士課程修了(人間文化科学博士)。三重大学人文学部准教授。専門は哲学、美学、演劇論。ドイツの哲学者カントの哲学研究を行う一方、長年の観劇歴から演劇批評にも携わる。現代演劇の批評を中心にしながら、現在では歌舞伎や文楽の見どころ解説を筋書や講座などで担当中。

おしゃべり古典サロン vol.3 東海道四谷怪談

9月22日[日]

14:00~16:00 ※13:30より受付開始

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター

三重県文化会館 小ホール

以下のいずれかの方法でお申込みください。

(先着順・事前申込制)

※お申込み時点で受付完了となります。

受講ハガキの送付等はいりませんので、あらかじめご了承ください。

WEB

三重県文化会館WEBサイト申込フォーム
<https://www.center-mie.or.jp/bunka/invite>

電話・窓口

三重県文化会館チケットカウンター
TEL059-233-1122
※10:00~19:00/月曜休館(祝日の場合翌平日)

FAX

FAX059-233-1106
※件名を「おしゃべり古典サロン申込」と明記ください

郵送

〒514-0061 三重県津市一身上田津部田1234
三重県文化会館「おしゃべり古典サロン」係 宛



- ・近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」西口より徒歩約25分/三重交通バス約5分
- ・伊勢自動車道「津IC」より車で約10分/「芸濃IC」より車で約15分

切り取り線

おしゃべり古典サロン 申込用紙

フリガナ お名前			
参加人数		電話番号	

※ご記入いただいた個人情報は、講座に関するご連絡のために使用させていただき、個人情報保護法に基づき適切に管理いたします。